

## 平成31年度 社会福祉法人まつかぜの会事業計画

### 1. 事業方針

本法人の理念の実現に向け、法令遵守と法人の運営方針に沿って行動し、障がい者が自立した日常生活そして安心して社会生活が営めるよう積極的に地域福祉に貢献いたします。また、その人らしい生活を実現するため人権擁護に徹し、人材育成及びサービスの質の向上を図り、ご利用者・ご家族にとって適切な支援に努めることを基本方針といたします。

本法人は、社会状況やニーズの変化に対応し、将来も地域福祉を担う法人として、人材育成、労務管理、事業所運営、財務状況の改善に取り組んでいくとともに、将来にむけての法人の在り方を模索していきます。

人材育成として、職員には利用者主体、安心感のある環境の大切さと人権擁護に徹底した研修を取り入れ、知識及び技能の取得と向上を目的に法人内研修を実施します。また、職員のスキルアップのために外部研修も奨励します。

労務管理は、業務への意欲向上を目指し労働環境の改善に取り組んでいます。育児、介護休暇の取得など職員の状況に応じた勤務が可能な体制作りを推進し、必要に応じて業務分担を図り業務の効率化に努めます。

事業所運営は、新年度から新たに多機能型事業所（就労継続支援B型・生活介護）「みらいず」が開設されます。現在豆のちからの従たる事業所「ぱれっと」を新年度から「みらいず」の従たる事業所とし、32名定員となります。作業のみではなく、創作活動や音楽療法・運動等をプログラムに取り入れた生活介護と、松戸市と契約し粗大ごみリユース販売、また農福連携事業を主とした就労継続支援B型の事業といたします。

豆のちからにおいては、従来のごとうふ製造販売の更なる強化として新製品の開発や販売ルート拡大、また菓子工房ではお菓子の種類を増やし、いずれも売り上げアップすることで利用者工賃向上に繋がりたいと考えます。

今後、利用者の高齢化や身体状態の変化や家族構成の変化などを考え、グループホーム事業の整備を計画していきます。

財務状況は、新事業所の立ち上げに伴い、今年度は利用定員に満たないこともあり大変厳しい状況であります。また、給付費の減額が経営上課題となります。人件費と労務関係の支出、及び新規事業の支出が見込まれるため、現行サービスへの影響が出ないよう配慮しつつ、適正な財務体制の確立に向け十分な検証を進めてまいります。

本法人は、諸課題をクリアしながら利用者、家族、さらに地域の方々の期待に応えられるよう、役員及び職員一丸となって努力をして参ります。

## 2. 理念

社会福祉法人まつかぜの会は、障がい者福祉事業を「障がいのある人もない人も共に社会で生活する」という、インクルーシブ社会の考え方に基づいて実施することにより、障がいのある人たちが「より自分らしく」、「できないことがあっても困ることのない」、「安心した生活」を送ることができる「共生社会」の実現を目指していくことを理念とします。

## 3. 基本方針

- ① 利用者が主役であり、一人ひとりの人権を守り、誰もが心身ともに育成されるよう支援します。
- ② 利用者の個性や思い、ライフスタイルに添った個別支援を念頭に、普通の市民の普通の生活を目指します。
- ③ 職員一人ひとりの資質の向上や職員のキャリアアップを図っていきます。
- ④ 福祉サービスを通じ、地域との結びつきを大切にし、地域に開かれた施設づくりをします。
- ⑤ 近隣既存事業所との連携を図り、利用に際しての様々な利便性の向上や事業所の人材育成、スキルアップを図っていきます。
- ⑥ 透明性を堅持し、健全でかつ活力ある法人経営をします。

## 4. 設置事業

第二種社会福祉事業（社会福祉法第2条）

- (1) 就労継続支援B型事業所豆のちからの運営（定員 20名）
- (2) 多機能型事業所みらいずの運営（定員 32名）
  - 主たる事業所みらいず ・生活介護（8名）
  - ・就労継続支援B型（12名）
  - 従たる事業所ぱれっと ・就労継続支援B型（12名）

## 5. 事業の概要

- ① グループホームの実施について、検討を図ります。
- ② 新規事業の多機能型事業所として、生活介護事業、就労継続支援B型事業の支援を充実し事業を推進します。
- ③ 豆のちからの製品開発を推進し、利用者工賃向上に努めます。

- ④ 研修の充実、他事業所等の視察、講演等の受講を推進することにより、職員一人ひとりの資質の向上やキャリアアップに努めます。
- ⑤ ホームページを通して財務諸表など運営状況の開示を行い、透明な法人運営に努めます。

## 6. 福祉サービスに関する苦情解決

### (1) 目的

法人が実施する事業の利用者及び保護者からの苦情に対して、適切な対応を行い、利用者の権利を擁護し、事業の迅速な改善を図るとともに、事業に対する社会的な信頼を向上させることを目的といたします。

### (2) 内容

- ① 苦情対応責任者・苦情受付担当者を置き、随時苦情を受け付けます。  
苦情対応責任者 柳町 美恵子（施設長）  
豆のちから：苦情受付担当者 臼田 圭子（支援員）  
みらいず：苦情受付担当者 市川 寿子（支援員）
- ② 円滑かつ迅速に苦情を解決するための処理体制・手順に従い改善・調整を行います。
- ③ 苦情解決における客観性と社会性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を行うため、公平・中立的な立場にある第三者委員を2名置きます。  
山口 真理子（社会福祉士・精神保健福祉士）  
藤井 公 雄（基幹相談支援センターCOCO センター長）

## 7. 虐待防止の取り組み

利用者の安心・安全の確保のため、事故等の防止、虐待等の防止を目的に、職員会議で当該月の事故や「ヒヤリハット」等を職員全員で原因を究明、検証し、危険な芽を早期に摘み取り、安全の徹底及び再発の防止に努めます。

## 8. 家族会、関係団体等との連携

- (1) 家族会において、事業の現況報告や意見交換を行い、ニーズを踏まえた良質なサービス提供に繋がります。  
また、イベント販売等に参加・協力をしていただき、利用者の様子や職員との交流を通して、家族との連携を深めます。
- (2) 特別支援学校や関係機関等との情報交換を行い、在宅者、特別支援学校生等に

体験実習の機会を提供し、進路選択の情報提供に努めます。

## 9.事業所別計画

### ○就労継続支援B型事業所「豆のちから」

- ・とうふ・菓子製造販売において新製品開発に努め、また販売網を広げる取り組みをします。
- ・とうふ等の移動販売時に団地など独居老人宅の見守りをするなど社会貢献活動をいたします。
- ・施設外就労において、地域の会社等との関わりをもちながら、仕事に対する意欲向上心を育てます。
- ・工賃月額として 20,000 円以上を目標に取り組みます。
- ・旅行や季節的な行事等を計画的に実施しながら、作業意欲の向上に努めます。

### ○多機能事業所「みらいず」

#### 【就労継続支援B型事業】

- ・企業 6 社から袋詰め等の仕事を請負、迅速丁寧な作業をいたします。
- ・松戸市廃棄物対策課と契約し、社会福祉法人松里福社会と共同で粗大ごみリユース事業（清掃・修理・販売）を行います。販売場所は「みらいず」のショップと各イベント販売になります。
- ・施設外就労において、地域の会社等との関わりをもちながら、仕事に対する意欲向上心を育てます。
- ・旅行や季節的な行事等を計画的に実施しながら、作業意欲の向上に努めます。

#### 【生活介護事業】

- ・日常生活の支援、創作活動、音楽療法等の支援サービスを、一人ひとりの障害特性に応じて提供し情緒の安定や生活の充実に努めます。
- ・利用者の要望等を取り入れながら、レクリエーション活動や行事等を計画的に取り入れます。

## 10. 評議員及び役員等の構成

評議員 8名	理事 7名	監事 2名
蒲田 孝代	柳町 美恵子	荒尾 成宏
泉 幸江	染井 猛	西山 一美
篠田 正春	江澤 嘉男	
藤城 和夫	柳町 博	
坂本 金市	太田 正和	
畑 利子	佐藤 英美	
外山 義哉	郡司 妙子	
内山 武三		

### 【任期】

評議員 2021年に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

理事・監事 2019年に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

## 11. 法人評議員会、理事会開催計画

評議員会	第1回	平成31年6月22日(土)	前年度事業報告及び決算報告 理事及び監事の選任について
理事会	第1回	平成31年5月30日(木)	前年度事業報告及び決算報告 理事及び監事候補の選任について 理事長の職務執行の報告他
	第2回	2020年3月12日(木)	補正予算、次年度事業計画及び予算 理事長の職務執行の報告他

## 12. 職員等組織

事業所	管理職（施設長）	サービス管理責任者	常勤職員	非常勤職員
豆のちから （就B）	柳町 美恵子	白田 圭子	郡司妙子（事務兼生活支） 浦野匡介（生活支援員）	淀野佐織（職業指導員） 島根昭子（職業指導員） 加藤東美（生活支援員） 雑賀里榛（生活支援員） 森田 恵（職業指導員）

事業所	管理職（施設長）	サービス管理責任者	常勤職員	非常勤職員
主たる事業所 多機能みらいず （生活介護）  （就B）	柳町 美恵子	市川 寿子	石村久美子（生活支援員）	柳町久美子（生活支援員） 中澤美佐子（看護師）
従たる事業所 ぱれっと （就B）			菊池裕史（職業指導員） 佐藤加奈子（事務兼生活）	染井 猛（職業指導員）
			針谷昭子（生活支援員） 宮崎則子（職業指導員）	宇塚啓子（職業指導員） 橋詰美栄子（職業指導員）